

史跡岡山城跡本丸本段・下の段

発掘調査現地説明会 資料

岡山市教育委員会

日時 平成19年3月3日(土) 13:30~

場所 岡山市丸の内2丁目地内(史跡岡山城跡)

はじめに

岡山市教育委員会では史跡岡山城跡の保存整備事業のひとつとして、平成18年12月から、本丸本段の発掘調査および下の段(テニスコート跡地)の試掘調査を行ってきました。このたび調査がほぼ終了したため、見つかった遺構や遺物を公開することとなりました。

本段の調査成果

本段高石垣の修理に先立ち、石垣の裏側の調査を行いました。

本段は江戸時代には藩主の日常生活の場である本段御殿を中心(ほんだんごてん)に多くの建物が建っていました。それらは明治時代に取り壊され、旧制中学校の建物が建てられていました。

今回の調査でも、学校のコンクリート基礎(きそ)がたくさん築かれていましたが、花崗岩(かこうがん)の基礎石と凝灰岩(ぎょうかいがん) (豊島石)の溝が見つかりました。これらは元禄13(1700)年に描かれた『御城内御絵図』にある多聞櫓(たもんぐら)のものと考えられます。また、小早川秀秋(こばやかわひであき)が岡山城を拵げた時に埋め込まれたと考えられる、宇喜多秀家(うきたひでいえ)の時代に築かれた石垣も見つかりました。石垣はほとんど加工されていない自然石を積み上げた野面積(のづらづみ)という積み方です。傾きは約60度とゆるやかです。

遺物は宇喜多期(うきた)の金箔押し瓦(がわら)、池田期(いけだ)の瓦、皿(ちわん)や茶碗(ちawan)、貝殻(かいがら)や魚の骨(いさな)といった食物残渣(じょくもつざんさい)(ゴミ)、旧制中学時代(きゅうせい)のインク瓶(びん)、三角定規(さんかくていぎ)や硯(すずり)といった学用品等が見つかりました。

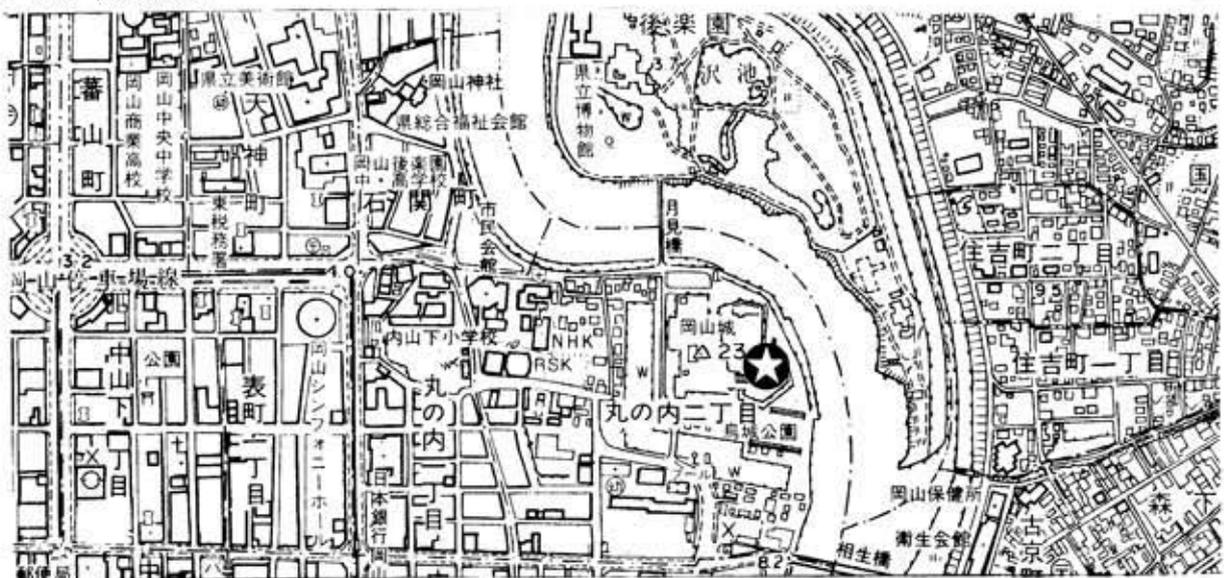


図1 調査地位置図 (1/10,000)

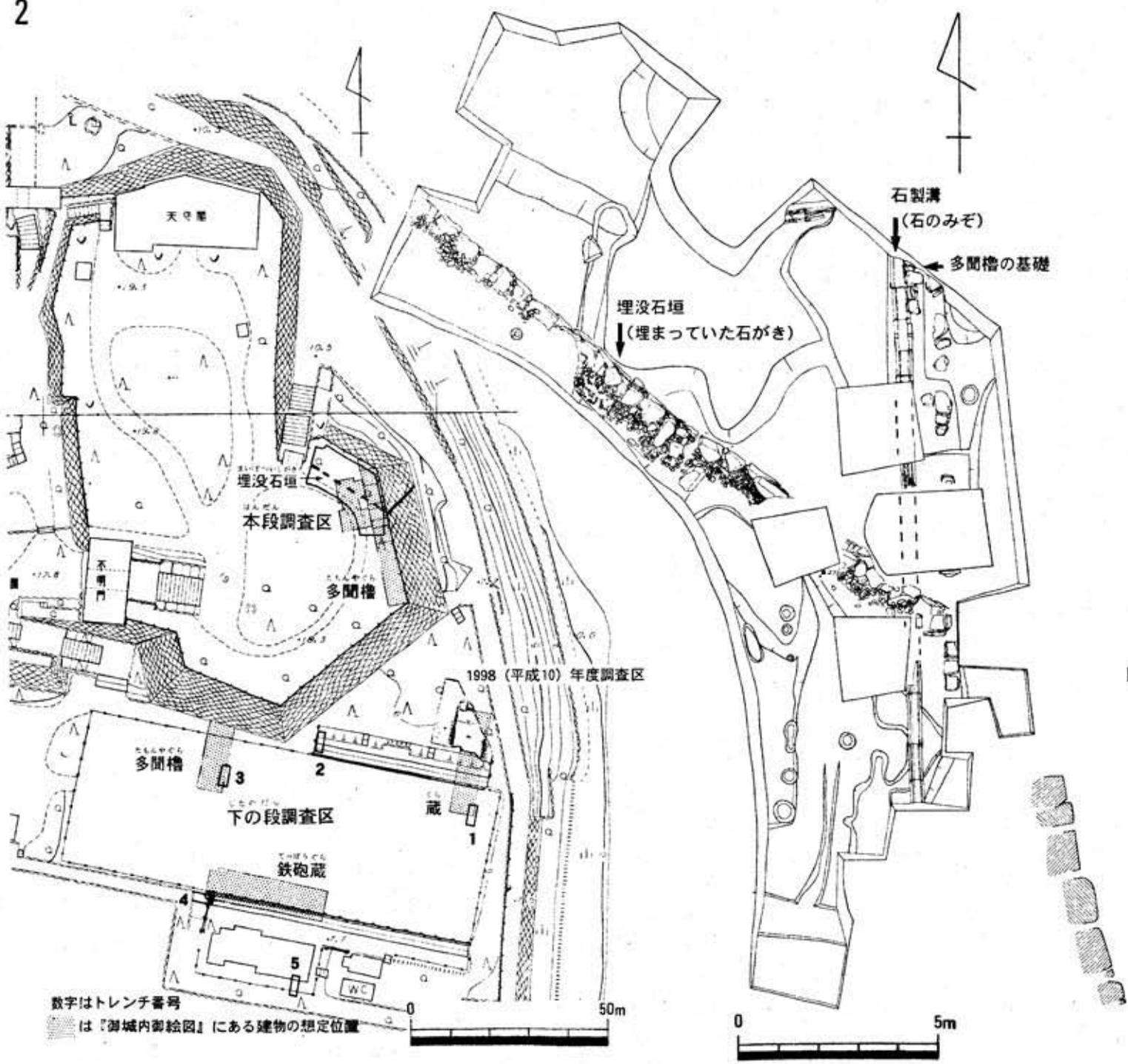


図2 史跡岡山城跡本丸調査区位置図 (1/1,000)

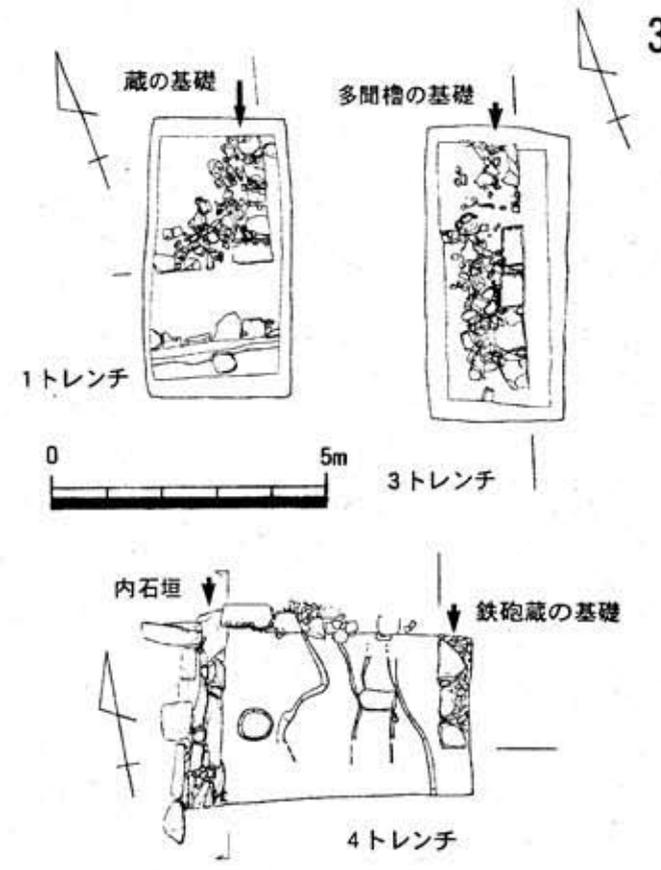


図4 史跡岡山城跡本丸下の段調査区遺構配置図 (1/100)

図3 史跡岡山城跡本丸本段調査区遺構配置図 (1/100)

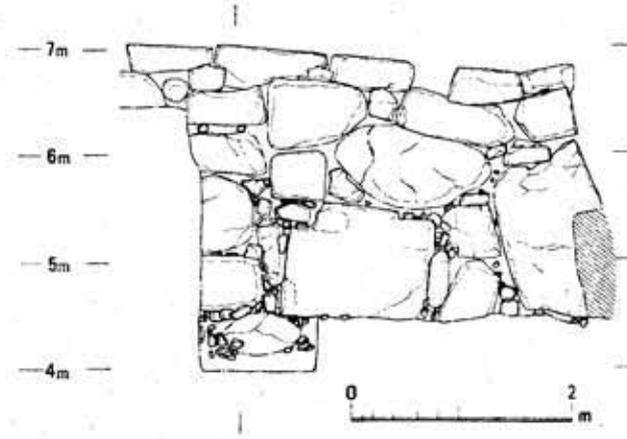


図5 4トレンチ内石垣立面図・断面図 (1/50)

下の段（テニスコート跡地）の調査成果

遺構の有無や内石垣の状態を確認するために5カ所のトレンチ（試掘壕）を調査しました。うち3カ所のトレンチで遺構を確認しました。

1トレンチからは建物の南東角の、3トレンチからは建物の東辺の、4トレンチからは建物の南西角の基礎石が見つかりました。基礎石は花崗岩で矢穴を残すものもあります。『御城内御絵図』に描かれた場所とほぼ同じ地点から見つかったことから、池田期の櫓や蔵のものと考えられます。地中には当時の建物跡が良好に残っているものと思われます。また、4トレンチでは高さ約3mの内石垣の基底部を確認しました。

本段調査区から見つかった遺物

のきまるがわら
軒丸瓦



きんぱくおしがわら
金箔押し瓦（金ぱくをはりつけた瓦）
みぎまきみつどもえもん
右巻き三巴紋

ごしちきりもん うきたけのかもん
五七桐紋（宇喜多家の家紋）



むなごみがわら きくまる
棟込瓦（菊丸）

あびはちょうもん いけだけのかもん
揚羽蝶紋（池田家の家紋）

おにがわら
鬼瓦

しゃもこ
鯨



えどじだいのとうじき
江戸時代の陶磁器

きゅうせいちゅうがくじだいのがくようひん
旧制中学時代の学用品